

# 豊かな地域支える「みやぎ環境税」

## 安心・安全守り 活性化も後押し

再生可能エネルギーを活用した地域復興支援事業



地域還元の一つとしてHOPEがJR仙石線野蒜駅前に設置している「環境絵日記」表彰作の看板

供給先の使用電力量予想などが目で分かる! 東松島市矢本河戸  
供給先のモニタースペース。太陽光発電設備や市場からの電力仕入れ状況

## 供給先増え 収益も還元

### 東松島市の新電力事業

地元でつくりた再生可能エネルギーを販賣取り、公共施設などに安く供給する地域新電力事業に2016年4月、県内の自治体でいち早く参入したのが東松島市だ。エネルギーの「地産地消」と、新電力事業が生み出

被災を受けた。停電は長期間に同市は東日本大震災で大きな被害を受けた。

市は東日本大震災で大きな被害を受けた。停電は長期間に

上に取り組んできた。

地域新電力事業もその一つ。地元でつくった再生可能エネルギーを販賣取り、公共施設などに安く供給する地域新電力事業に2016年4月、県内の自治体でいち早く参入したのが東松島市だ。エネルギーの「地産地消」と、新電力事業が生み出

供給先が増え 収益も還元

被災を受けた。停電は長期間に上に取り組んできた。

## 人材育成目指して専門家を派遣

児童・生徒のための環境教育推進事業



さまざまな種類の海藻を示しながら、海の自然環境について説明する

環境に優しい活動ができる人材の育成を目指し、県は「児童・生徒のための環境教育推進事業」として、県内の小学校で出前講座を開催している。県が委嘱した環境教育リーダー専門家を依頼があつた学校に派遣し、地球温暖化防止、再生可能エネルギー、自然保護に関する講義や実習を実施。未来を担う子どもたちに自然を育む重要性

を学んでもらっている。石巻市寄磯小では7月3日、研修員の阿部拓三さんが講師となり、ワカメの成長過程や海藻の色と生息する海の深さの関係などを学んだ。



海藻をテーマにした阿部さんの教員ら熱心に聞く寄磯小の児童と教員

## 石巻・寄磯小の出前講座

### 自然を育む重要性学ぶ

初めての出前講座が開かれ、全校児童9人のうち3~6年生6人が受講した。県の環境教育リーダーで南三陸町農林水産課研究員の阿部拓三さんが講師となり、海の植物について詳しく説明した。

児童からは「家の養殖業を手伝うこともあり、海藻のことについていろいろ学べて、とてもために石巻市寄磯小では7月3日、なった」「身近にある海の生き物を今まで以上に調べてみたい」という

感想が聞かれた。

同校は、牡鹿半島の東部から突き出た寄磯半島の中央に位置する。児童の家庭は全て水産業に携わっており、毎年、保護者や近隣地域の漁業者の協力でボヤ、ワカメ収穫などの体験学習に取り組んできた。

しかし、東日本大震災を受けた。同年7月、同校は横谷智江主幹の県環境政策課の横谷智江主幹は、環境問題について自ら考へ、事業で、過去7年間で156校の7665人が受講。本年度は県内の約40校での開催を予定している。

出前講座は、2011年度から県が継続して取り組んでいる事業で、過去7年間で156校の7665人が受講。本年度は県内の約40校での開催を予定している。

阿部さんは「子どもたちが海藻をはじめとする海の自然や地元のことを興味を持ってくれるといい。将来、進学や就職で地域の外へ出て行った場合も、古里の良さを誇りを持ち続けてほしい」と願っていた。

理由を話す。阿部さんは「子どもたちが地域の産業や自然への見習を広めることで、自分の将来を考えさせなければ」と、出前講座を依頼した理由を話す。

阿部さんは「子どもたちが海藻をはじめとする海の自然や地元のことを興味を持ってくれるといい。将来、進学や就職で地域の外へ出て行った場合も、古里の良さを誇りを持ち続けてほしい」と願っていた。

■企画／宮城県広報課 ■問い合わせ先／宮城県環境政策課 022(211)2661

## 県からのお知らせ

※各記事の詳しい内容は□にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

### 公立学校臨時任用教育職員・非常勤講師の募集

●職種／小・中学校、高等学校、特別支援学校の臨時任用教員および非常勤講師  
●資格／小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員免許状所有者または取得見込みの方  
●賞金／県規程による  
●募集要項／下記ホームページに掲載  
●登録方法／下記ホームページから電子申請により登録(電子申請が難しい場合は下記お問い合わせください)  
●一次登録期限／平成31年10月(火)  
●県教職員課 ☎022(211)3633  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

### 子ども食堂を始めよう！立ち上げ講座を開催します

全国で子ども食堂の取り組みが広がっています。県は、身近な地域で子ども食堂が多く開設されるよう、立ち上げ講座を開催します。  
●対象者・定員／子ども食堂の立ち上げを考えている方・各会場30人  
●日時・場所／①9月9日(日)午後1時～5時・宮城県大崎合同庁舎②10月14日(日)午後2時～6時・東松島市コミュニティセンター、③11月17日(土)午後1時～5時・白石市民文化公民館  
●費用／申し込み／無料・各開催日の1週間前までに電話にて申し込み窓口まで  
●申込窓口／NPO法人アスク ☎022(781)5576  
●県社会福祉課 ☎022(211)2517

### 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

9月21日(金)～30日(日)に秋の交通安全県民総ぐるみ運動を実施します。また、9月30日(日)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。交通ルールを守り、正しい交通マナーを実践しましょう。

●運動の重音／①子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止、②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、③全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、④飲酒運転の根絶

●講師／県立交通対策課 ☎022(211)2438

当初、供給先は100カ所ほど

だったが、18年7月には390

カ所にまで増えた。

東松島の将来や環境について描いた「環境絵日記」の表彰作を

充て、環境教育や環境施策の啓發に役立っている。

「市の補助金なしで経営が成

立する組織を構築し、現在も行

つている定住化促進などの事業

に収益を回すことで、地域に貢

献していく」とHOPE常務理事の渥美裕介さん(33)は意

思を明るく照らしている。

新電力事業の愛称は「HOP

E」と柔らかな響きで、まちの将

来を明るく照らしている。

HOPEの愛称は「HOP

E」と柔らかな響きで、まちの将

来を明るく照らしている。